

公益社団法人アルコール健康医学協会

平成 27 年度 事業報告書

自：平成 27 年 4 月 1 日

至：平成 28 年 3 月 31 日

平成27年度 事業報告 目次

1、事業概要	1
2、総務関係事業報告	1
1. 会員概況	
2. 理事会の開催について	
3. 社員総会の開催について	
4. 企画委員会の開催状況について	
5. その他	
3、業務関係事業報告	
【公益目的事業1】 普及啓発事業	4
1. 普及・啓発資料の開発・作成事業	
2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業	
3. インターネットによる情報提供	
4. 書籍の頒布事業	
5. 後援事業	
6. 取材・問合せ等への対応事業	
7. 講演会・セミナー等事業	
8. 助成事業	
【公益目的事業2】 学術事業	9
アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集	
【公益目的事業3】 広告審査事業	10
4、監査報告書	12

1 事業概要

平成27年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（平成28年3月31日現在）

(1) 正会員	28名
浅見 敏彦	公益社団法人アルコール健康医学協会副理事長
伊東 貞	税理士法人さくらホールディングス代表社員・税理士
伊藤 洋	日本洋酒酒造組合専務理事
伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会専務理事
江國 清志	全国卸売酒販組合中央会専務理事
岡南 啓司	日本蒸留酒酒造組合専務理事
岡本 佳郎	日本酒造組合中央会副会長
行天 良雄	医事評論家
黄金井康巳	全国地ビール醸造者協議会会長
坂田 辰久	全国小売酒販組合中央会副会長
雑喉 利祐	一般社団法人チェリー・ブロッサム代表理事
佐野 一重	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事
滝本 修司	ビール酒造組合 専務理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 政信	公益社団法人日本婦人科医会常務理事
玉木 武	公益社団法人アルコール健康医学協会前理事長
津久江一郎	医療法人せのがわ瀬野川病院会長
日野原重明	一般財団法人聖路加国際メディカルセンター理事長
平山 宗宏	東京大学名誉教授
古屋 賢隆	公益社団法人アルコール健康医学協会前常務理事
保崎 秀夫	慶應義塾大学名誉教授
三浦 勇夫	三浦診療所所長
南 砂	読売新聞東京本社 取締役調査研究本部長
目黒 克己	医療法人高仁会顧問
堀井 茂男	公益社団法人日本精神科病院協会常務理事
渡辺 哲	東海大学医学部客員教授
野崎 貞彦	日本大学医学部名誉教授
米井 元一	日本洋酒輸入協会理事長

(2) 賛助会員 団体会員 18者

(酒類業界等11者、製薬業界2者、病院3者、その他2者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
武田薬品工業株式会社
医療法人(社団)新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
社会医療法人財団松原愛育会 松原病院
サトーホールディングス株式会社
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(書 面) 平成27年5月26日 (定款第35条による)

議題 平成26年度事業報告書及び平成26年度財務諸表について

(第1回通常理事会) 平成27年6月19日 於日比谷松本楼

- ア. 出席理事 16名
- イ. 議題 役員報酬等及び費用に関する規程の改訂について
- ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務執行状況について

(臨時理事会) 平成27年6月19日 於日比谷松本楼

- ア. 出席理事 15名
- イ. 議題 (1) 玉木理事長退任に伴う新理事長の選任について
(2) 玉木前理事長への100万円の退職手当の支給について
(3) 玉木前理事長の顧問就任について

(書 面) 平成27年8月24日 (定款第35条による)

- 議題 (1) 正会員の入会について
(2) 役員旅費規程の一部改訂について
(3) 臨時社員総会の開催・招集について

(第2回通常理事会) 平成28年3月15日 於日比谷松本楼

- ア. 出席理事 15名
- イ. 議題 (1) 平成28年度事業計画及び同収支予算について
(2) 平成28年度定時社員総会の開催・招集について
- ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会) 平成27年6月19日 於日比谷松本楼

- ア. 出席社員 28名 (委任状提出者を含む)
- イ. 議題 (1) 平成26年度事業報告及び同収支決算について
(2) 役員の報酬等及び費用に関する規程の改訂について

(臨時社員総会) 平成27年9月7日

- ア. 出席社員 28名 (委任状提出者を含む)
- イ. 議題 理事の選任について

4. 企画委員会の開催状況について

- (1) 構成員 企画委員11名 (平成28年3月31日現在)
(任期:平成26年11月8日～平成28年11月7日)

伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会	専務理事
亀井 慶承	日本酒造組合中央会	理事
重盛 憲司	洗足メンタルクリニック	院長
高石 昌弘	東京医科大学	客員教授
田中 潤	サントリースピリッツ株式会社	AR P室 部長
中村 道子	全国養護教諭連絡協議会	顧問
並木 茂夫	公益財団法人日本学校保健会	事務局長
原田 卓也	アサヒビール株式会社	社会環境部 担当部長
久常 節子	国際医療福祉大学	副大学院長
松本 浩明	宝酒造株式会社	執行役員 東京事務所長
水口 尚人	全国小売酒販組合中央会	政策部長

他に、専門委員2名

- (2) 開催日時及び議題

《平成27年》

第1回 4月21日

- 1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.21 No.1」企画案検討
- 2. 機関誌「お酒と健康」Vol.35 読み合わせ等
- 3. その他

第2回 5月29日

- 1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.21 No.1」原稿読み合わせ
- 2. その他

第3回 5月29日 総会

6/19 開催予定の通常理事会・定時社員総会等の議題について

- (1) 平成26年度事業報告書・同収支決算
- (2) 玉木理事長の退任に伴う新理事長の選任について

第4回 9月9日

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol. 21 No. 2」企画案検討
2. その他
 - (1) 平成27年度助成事業の当初計画の一部変更について
 - (2) リーフレット「女性と飲酒」の作成について
 - (3) その他

第5回 10月15日

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol. 21No. 2」原稿の読み合わせ
2. リーフレット「女性と飲酒」
3. その他

《平成28年》

第6回 1月27日

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol. 21 No. 3」企画案検討
2. その他
 - (1)平成28年度 助成事業計画について
 - (2)リーフレット「女性と飲酒」外部販売状況について

第7回 3月2日

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol. 21 No. 3」原稿読み合わせ
2. その他

第8回 3月2日 総会

3/15 開催予定の通常理事会の議題について

- (1)平成28年度事業計画・同収支予算
- (2)その他

3 業務関係事業報告

平成27年度においては、賛助会費等38,560千円、出版物等頒布収入649千円、基本財産運用益1,183千円、助成金1,200千円、委託金6,628千円等、計48,220千円をもって、次の事業を実施した。

【公1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の開発・作成事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに未成年者の飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌やリーフレット等を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第35号を1万2千部発行（5月）
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol. 21 No. 1～No. 3を各1万2千部ずつ計3万6千部発行（7月、11月、3月）
- ・ 未成年者の飲酒防止普及啓発のため、リーフレット「恐ろしいイッキ飲み」を5千部増刷（7月）、小冊子「お酒飲んでもいいの？」を12,000部増刷（12月）
- ・ 女性が健康にお酒を楽しむために作成したリーフレット「女性と飲酒」を1万部作成（11月）

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。
- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。
- ③ 平成27年11月10日～16日のアルコール関連問題啓発週間に先駆け、都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センターに対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ7件の申込みがあった。
- ④ 女性が健康にお酒を楽しむために作成したリーフレット「女性と飲酒」の発行を記念して送料無料等キャンペーンを行ったところ22件（計6,740部）の申込みがあった。

各種大会等に対する資料の提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
【平成27年】		
8月22日	第10回村上・岩船地域の医療を考えるフォーラム	900部
10月11～13日	アルコール関連問題学会	460部
10月12日	アルコール・薬物医学会市民公開講座	2,800部
11月12日	第5回飲酒と健康に関する講演会	2,200部
【平成28年】		
2月12～13日	アルコール看護研究会	300部
3月8～11日	FOODEX JAPAN	800部

未成年者飲酒防止向け資料提供（主なもの）

開催年月日	提 供 先	部数
【平成 27 年】		
8 月 21 日	第 25 回アルコール健康教育研修会	934 部
12 月 8 日	喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料研修会 (鳥取開催)	1,050 部
【平成 28 年】		
1 月 14 日	学校における飲酒防止教育研修会	2,800 部
【通年】		
	東京都学校薬剤師会より資料提供依頼	1,975 部
	浦安市薬剤師会より資料提供依頼	1,950 部
	神奈川県麻薬等薬物相談員会より資料提供依頼	5,898 部

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の 10 か条、飲酒運転防止、未成年者飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、平成 27 年度中のアクセス件数は、32,204 件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会開発・作成の情報誌、リーフレット等や書籍（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」等）を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対して、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

平成 27 年度は次の 8 件の後援等依頼があった。

- ・ 平成 27 年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」
- ・ 第 25 回「肝臓週間」
- ・ 第 14 回未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン
- ・ 第 25 回アルコール健康教育研修会
- ・ 公益財団法人日本学校保健会事業「平成 27 年度 学校における飲酒防止教育研修会」（熊本県）
- ・ 第 26 回日本アルコール看護研究会
- ・ 第 63 回精神保健福祉普及運動
- ・ 未成年者飲酒防止・飲酒運転撲滅全国統一キャンペーン

6. 取材・問合せ等への対応事業

新聞・TV・ラジオ・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業、学園祭の実行委員（大学生）や一般消費者等から適正飲酒、飲酒運転・未成年者飲酒防止等に関する問合せや取材依頼、講師依頼など数十件あった。

また、当協会ホームページへのリンクやホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、自治体や企業、病院等からホームページ、広報誌や社内報、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が20件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

平成27年11月12日、飲酒と健康に関する第5回目の講演会を開催した。

また、同28年2月には、講演会内容を取りまとめた記録集を3,000部作成し、関係者に配付した。

第5回 飲酒と健康に関する講演会

主催者	公益社団法人アルコール健康医学協会
開催日時	平成27年11月12日（木） 13:00～16:45
会場	国立がんセンター内国際交流会館
参加者	149名
後援	厚生労働省、国税庁、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会
講演内容	1. アルコール健康障害対策基本法について 厚生労働省 健康局 健康課 たばこ対策専門官 寺原 朋裕 2. 飲酒とそれらに関わる社会医学的な考察（第2報） 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授 岡村智教 3. 多量飲酒による健康被害のメカニズム 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長 松下 幸生 4. 中高年者の心の健康とアルコール 国立長寿医療研究センター客員研究員 愛知淑徳大学健康医療科学部 教授 安藤 富士子

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。平成27年度は次葉の(1)～(5)の5件。

(1) 第25回アルコール健康教育研修会への助成

主催者	健康行動教育科学研究会
開催日時	平成27年8月21日(金) 9:55~16:30
会場	東京工科大学蒲田キャンパス3号館3階30311号室
参加者	78名
講演等	研究講演 飲酒と消化器疾患 堀江義則(国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授、山王メディカルセンター内科部長) 基調講演 アルコールをめぐる諸課題 高木 敏(新町クリニック所長) 教育講演 飲酒防止教育をどのように取り組むか 小林賢二(青少年喫煙等健康問題研究会代表) 実践報告と意見交換

(2) 第37回日本アルコール関連問題学会への助成

主催者等	日本アルコール関連問題学会(事務局:公益財団法人慈圭会 慈圭病院)
開催日時	平成27年10月11日(日)~12日(月)
会場	神戸国際会議場(神戸)
参加者	約1,300名
講演等 (主なもの)	【特別講演】「依存症の変遷半世紀」 座長:堀井茂男(公益財団法人慈圭会 慈圭病院) 演者:齋藤 學(家族機能研究所) 【シンポジウム】 「アルコール治療における神経科と内科等の連携及び内科等での心理社会的治療」 座長:樋口 進(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター) 竹井謙之(三重大学消化器内科)

(3) 第50回日本アルコール・薬物医学会 市民公開講座への助成

主催者等	日本アルコール・薬物医学会(事務局:兵庫医科大学)
開催日時	平成27年10月12日(木) 16時30分~18時
会場	神戸国際会議場(神戸)
参加者	約400名

講演等	16:30～17:15 お酒と内科疾患（膵疾患を中心に） 座長：河田則文（大阪市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学） 演者：竹中 完（神戸大学大学院医学研究科 内科学講座消化器内科学分野 光学医療診療部）
	17:15～18:00 お酒との付き合い方～こころとお酒～ 座長：松永 寿人（兵庫医科大学 精神科精神科学） 演者：辻本 士郎（ひがし布施クリニック）

(4) アルコール健康教育講師派遣事業への助成（一般社団法人東京都学校薬剤師会）

標記事業を実施している一般社団法人東京都学校薬剤師会に対して、講師の交通費の補助を目的とした助成金の交付を行った。

この事業では、平成27年度は小学生、中学生、高校生、大学生、保護者、教育関係者等を対象に計65か所、6,749名に対して研修が行われた。

(5) アルコール健康教育講師派遣事業への助成（神奈川県麻薬等薬物相談委員会）

標記事業を実施している神奈川県麻薬等薬物相談委員会に対して、講師の交通費の補助を目的とした助成金の交付を行った。

この事業では、平成27年度は小学生、中学生、高校生、大学生、保護者、教育関係者等を対象に計63か所約14,400名に対して研修が行われた。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

平成17年度より、ビール酒造組合から委託を受け実施している事業であり、平成27年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を253件収集した。

なお、平成26年度分の医学情報249件については、平成27年9月に当協会のホームページ上で公開し、また、目次集Vを同27年10月に3,000部作成し関係者に配付した。（注：この事業は平成16年度以前については当協会の自主事業として実施している。）

医学情報収集に関するビール酒造組合からの委託事業

区分	
契約日	平成27年4月1日
契約期間	1年毎
学術情報収集のための学術調査先	下記参照

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理・編集先

区 分	担 当 者
疫学的な分野に関する学術情報の調査	滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生
病理・生理・薬理的な分野に関する学術情報の調査	高崎健康福祉大学薬学部薬学科細胞生理化学 研究室 教授 八田 慎一 先生
臨床・治療分野に関する学術情報の調査	慶應義塾大学看護医療学部 教授 加藤 眞三 先生

【公3 広告審査事業】

1. 平成27年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は0件、相談は45件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
2. 平成27年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の順守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ2回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1)審査委員会及び同実務者委員会の委員（平成28年3月31日現在）

・審査委員会（委員長は井嶋一友氏）

井嶋 一友	弁護士
大木 美智子	一般財団法人消費科学センター代表理事
高石 昌弘	東京医科大学客員教授
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
乳井 昌史	エッセイスト

・実務者委員会（委員長は宍戸 旦氏）

小沢 理恵子	消費生活コンサルタント
亀井 慶承	日本酒造組合中央会理事
斉藤 亨	ビール酒造組合審議役
佐野 一重	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事
宍戸 旦	公益社団法人日本広告審査機構参与
田中 潤	日本洋酒酒造組合アルコール委員会委員長
並木 茂夫	公益財団法人日本学校保健会事務局長
松本 浩明	日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会委員

(2)委員会の開催状況

【審査委員会】

(第29回) 平成27年6月22日～26日(書面審査)

議題 審査委員会委員の交代と実務者委員会委員の交代

(第30回) 平成27年7月15日(水) 14:00～15:30 於KKRホテル東京

議題 1. 経過報告(苦情・問合せの状況)
2. 第25回実務者委員会の報告
3. 酒類広告の審査
4. その他

(第31回) 平成28年1月25日(月) 15:00～17:00 於KKRホテル東京

議題 1. 実務者委員会委員の交代
2. 経過報告(苦情・問合せの状況)
3. 第26回実務者委員会の報告
4. 酒類広告の審査
5. ノンアルコール飲料広告のTVCFの審査
6. その他

【実務者委員会】

(第25回) 平成27年6月12日(金) 14:00～16:10 於アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第26回) 平成27年12月16日(水) 13:55～15:35 於アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料広告のTVCFの審査
4. その他

(3)審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要を第30回は平成27年8月に、第31回は平成28年3月にHP上に公開した。なお、第29回は委員改選に伴う書面審査のみ。